

【情報公開文書】

2026年5月20日作成

Ver.4.0

研究課題名	旧長崎腫瘍組織登録事業の承継研究
所属（診療科等）	長崎大学原爆後障害医療研究所研究所 腫瘍・診断病理学（原研病理）
研究責任者（職名）	中島 正洋（教授）
共同研究機関	長崎大学原研病理（代表施設） 氏名：中島 正洋 本事業の実施者は長崎県医師会であり、登録データの管理についての責任者は長崎腫瘍組織登録室長（中島 正洋）です。 データは代表施設のみに送付され、他の共同機関では使用されません。本研究の共同研究機関をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
研究期間	長崎大学病院長許可日（公開時には日付を記載）～2030年3月31日
研究目的と意義	長崎県内にお住まいの人に発生するがんやその他の良性腫瘍に関する詳細な医学的情報を登録し、がんの診断、治療、早期発見および予防、並びに長崎県におけるがん対策に役立てることを目的とします。一般の「がん登録」との違いは、病理診断された腫瘍を対象にし、悪性のがんのみならず、がんになる恐れのある性腫瘍（前がん病変）も含めて登録することです。これにより、より詳細ながんのデータを登録することができ、データを長崎県内のがん医療対策に役立てることが可能になります。もう一つの大きな違いは、顕微鏡標本（プレパラート）をデジタルデータ化し「バーチャルスライド」として病理診断情報と共に一緒に登録していることです。顕微鏡標本は時間が経過すると劣化してしまうという短所がありますが、本事業では劣化する前にデジタル化するため、半永久的に綺麗な組織画像を観察することが可能です。将来、病気の診断の分類が変更された場合でも、バーチャルスライドを見直すことで対応が可能である体制を整備しています。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 腫瘍の患者さんで、2016年1月1日から、2030年12月31日の間に、腫瘍の治療（検査）を受けた方を対象とします。</p> <p>●利用する情報</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 氏名、性、生年月日、居住地、原爆被爆の有無 ② 診断日 ③ 腫瘍の発生した部位、病理診断情報（標本番号、タイプ、進行度など） ④ 診断を行った医療機関名 ⑤ 治療経過 ⑥ 病理診断のなされた顕微鏡標本（プレパラート）のバーチャル化情報（スキャナーで画像データ化したもの） <p>登録の担当者は個人情報保護についての研修を受け、情報が安全かつ適切に管理されるよう万全を期しています。本事業に基づく集計結果や報告において、個人の特定につながる情報が出ることはありません。本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>

	<p>●研究方法</p> <p>毎年どのくらいの人が新たにがんや前がん病変と診断され、どのような種類のがんが増えたり減ったりしているのか、治療経過の年毎の推移、同じ人にいくつのがんが生じたか、長崎県全体や地域毎にみられるがんの特徴はどのようなものかなどデータ解析を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：中島 正洋（医師） 長崎大学原爆後障害医療研究所研究所 腫瘍・診断病理学 住所：長崎市坂本1丁目12番4号 電話：095（819）7105 FAX 095（819）7108</p> <p>●ご意見、苦情に関する相談窓口（診療・臨床研究の内容に関するものは除く）</p> <p>長崎大学病院では、患者さんとそのご家族を対象とした相談窓口を設置しております。</p> <p>長崎大学病院 医療相談室 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095-819-7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日除く）</p>